

第5回 ReRoots (リルーツ) 編



▲平松さん(左)の畑を見学しました

古今東西 ぐんぐん 行きます!

郡 郡

郡市長がさまざまな現場を訪問し 市民の皆さまの活動の様子などをお伝えします

若林区東部地域で大学生が中心となつて、農業とコミュニティの再生に取り組む一般社団法人ReRoots(リルーツ)を訪問しました。

地域の魅力が活動の原動力

ReRootsと東部地域とのつながりは、震災後に手つかずだった農地の、がれきの撤去ボランティアに取り組んだことに始まります。「約3年かけて撤去しましたが、農業や地域の再生には長期的な視点で支援が必要だと感じました」と代表の広瀬剛史さん。活動中、家も畑も大変な状況ながら、

地域のためにすぐに農業を再開する農家の姿勢に強く心を動かされたそうです。「農家の方の思いや農作物が次第に育つ光景に触れ、この地に骨を埋めたいと思うようになりました」と副代表の二木洗行さん。大学4年生の岡裕之さんも「地域行事に参加して地域を愛する気持ちの強さが伝わってきました」と話してくださいました。一軒一軒訪問して一緒にお茶を飲みながら地域の魅力をたくさん伺ったそう。「あかさつや何気ない会話の中に感じる温かさが好きです」と大学2年生の高田彩菜さん。地域への深い思いを感じたことが活動の原動力になったのですね。

強みを生かした地域おこし

震災後、この地域は世帯数が減少し、高齢化が顕著です。ReRootsでは農家の世代交代を見据え、若手就農者の育成に取り組んでいます。平松希望さんは学生時代のReRootsの活動を経て、この地で新たに農業を始めました。「地域外、非農家出身ですが、地元の方に温かく支えていただいています。続けていくには地域とのつながりが大切だと感じます」と話してくださいました。また、ReRootsは地域づくりにも力を入れていきます。祭りなどの地域文化を継承していくとともに、地域の魅力を外に発信して人

団体紹介

一般社団法人ReRoots(リルーツ)
平成23年発足。「復旧から復興へ、そして地域おこしへ」をコンセプトに活動を展開／ホームページ<http://reroots.nomaki.jp/>



広瀬剛史さん



二木洗行さん



岡裕之さん



高田彩菜さん



平松希望さん

を呼び込みたいとのこと。農家を志す方を受け入れる体制があること、地域への関心を高め移住者や人の往来を増やすこと、その両輪が大切なのです。広瀬さんは「新鮮な野菜がすぐに届けられることや貞山堀などの豊かな地域資源があることなど、この地域ならではの強みがある。アイデアを生かし、一緒に地域を活性化していきたい」と今後の展望を語ってくださいました。若い世代の方々が地域課題と向き合いながら共に歩む、その心意気に大きな刺激をもらいました。震災で甚大な被害を受けながらも、ふるさとの復興のため懸命に立ち上がった東部地域。この地域の力や可能性を今後のまちづくりを生かせるよう、さまざまなまちづくりの担い手の方々と協力しながら、前進していきます!